

令和4年度
鹿児島県かごしま地域活性化協働推進事業
「防災備蓄食品を活用した地域防災訓練」事業
意見交換会

特定非営利活動法人フードバンクかごしま



1

式次第

- ① 本年実施した防災備蓄食品を活用した地域防災訓練についての報告
- ② 防災備蓄食品を活用した地域防災訓練の意義について
- ③ 防災備蓄食品を活用した地域防災訓練のやり方について
- ④ 意見交換



2

①本年実施した防災備蓄食品を活用した地域防災訓練についての報告



3

①本年実施した防災備蓄食品を活用した地域防災訓練についての報告

企画名 始良市令和4年度災害ボランティア講座

日時 令和4年11月28日(月) 11:00~12:30

場所 加治木福祉センター(始良市加治木町393)

主催 社会福祉法人始良市社会福祉協議会

内容

①講演: 災害支援の現場から (30分)

②防災備蓄食品の体験会 (30分~1時間)



4

①本年実施した防災備蓄食品を活用した地域防災訓練についての報告



5

①本年実施した防災備蓄食品を活用した地域防災訓練についての報告

企画名 防災備蓄食品を活用した地域防災訓練

日時 令和5年1月28日(月) 11:00~12:30

場所 改新交流センター(鹿児島市古里町262)

主催 特定非営利活動法人フードバンクかごしま

協力 改新地域コミュニティ協議会
鹿児島市桜島支所

内容

①講演: 災害支援の現場から(30分)

②防災備蓄食品の体験会(30分~1時間)



6

①本年実施した防災備蓄食品を活用した地域防災訓練についての報告



7

②防災備蓄食品を活用した地域防災訓練の意義について

東日本大震災以後、防災備蓄食品の重要性が認知され、自治体、企業等で防災備蓄食品がストックされるようになった。
防災備蓄食品の賞味期限が大体5年周期ということもあり、その扱いについての議論が出たのが約5年前であり、現在もまたその次の周期となっている



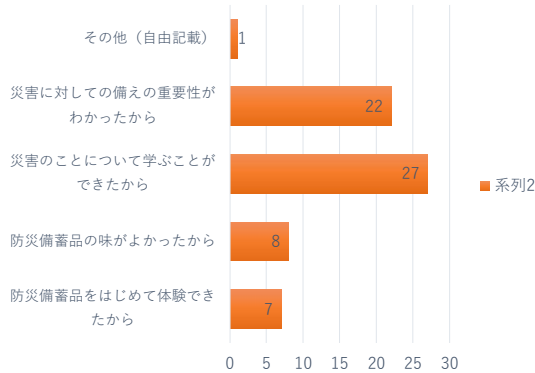
防災備蓄食品を有効活用する方法は何か？が問われている



8

②防災備蓄食品を活用した地域防災訓練の意義について

本事業の防災訓練で「参考になった」方の意見
(改新地区N=28、複数回答可)



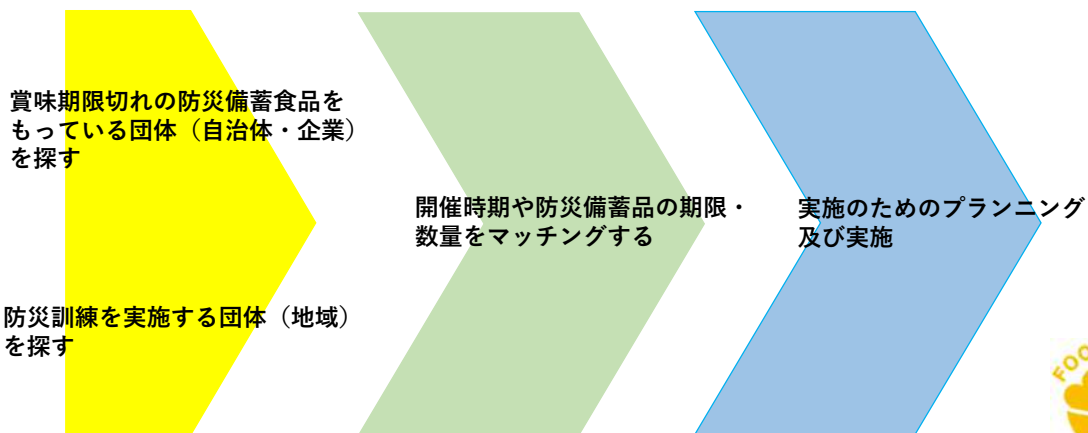
- 防災訓練にて活用し、災害時への対応力を高める
- 体験会を実施することで防災備蓄食品の必要性を感じてもらう
- 防災訓練等への参加率の向上が見込める

★防災訓練に新しい備蓄食品を購入するのではなく、防災備蓄食品を有効活用し、地域防災力向上が見込める



9

③防災備蓄食品を活用した地域防災訓練のやり方について



10

③防災備蓄食品を活用した地域防災訓練のやり方について

防災備蓄食品を持っている団体や防災備蓄食品を活用した防災訓練を実施したいと思う団体をさがすためのチラシをご提供いたします



【フードバンクかごしまができること】

防災訓練で使用する食品等が必要な場合にはご提供できます。
防災訓練等での講師派遣等のご依頼があれば、対応いたします。



11

④意見交換

ご清聴ありがとうございました。
ここからは質疑応答や意見交換の時間とさせていただきます。



12